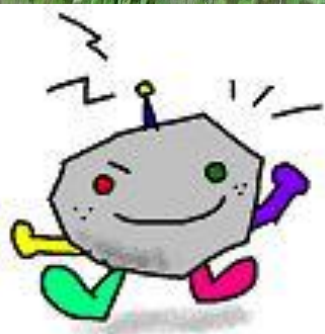


岩手大学環境マネジメントと産学官民連携を
活用した「 π 字型」環境人材育成プログラム

岩手大学認定資格

「岩手大学環境管理実務士」への道

Road to **Iwate Univ** Certified Environmental Management Specialist



第13版 2023年4月



環境省：環境人材育成のための 大学教育プログラム開発事業

ISO14001と産学官民連携を活用した 「π字型」環境人材育成プログラム

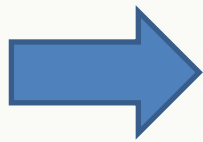
タイプB：平成21年4月～平成24年3月

国立大学法人岩手大学

平成25年度～

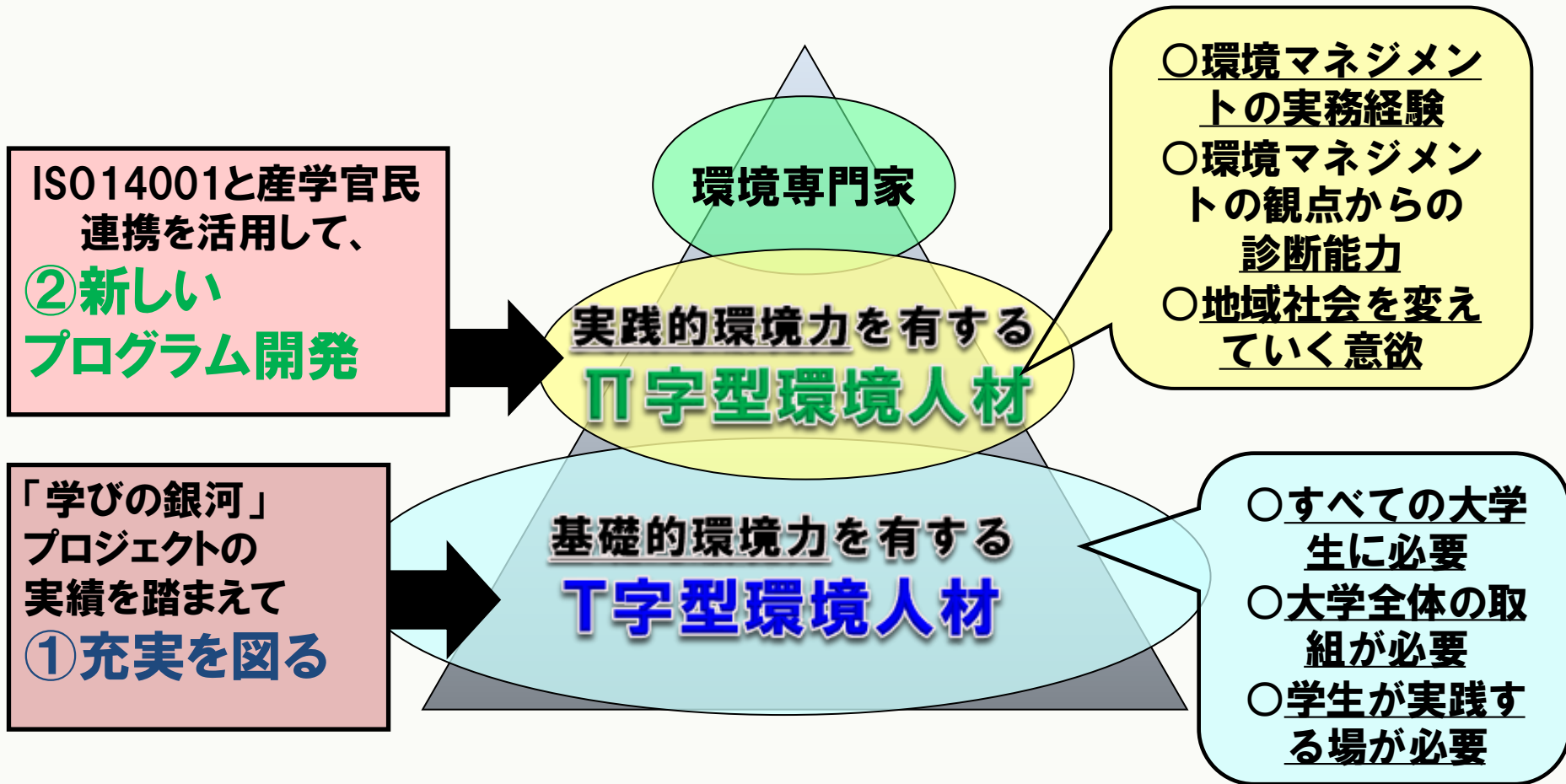
岩手大学独自のプログラムとして継続

平成29年度～ 一部名称変更



プログラムの概要

環境人材育成プログラムのねらい



プログラムの概要



教養教育



基礎的

ESDの
価値観

環境力

人文社会科学
教育学
理工学・農学

所属学部の専門性



実践的
環境力

①「環境
マネジメント
実践学」

②「地域
環境マネジメント
実践演習」

目標とする
環境人材像

「π字型」環境人材の育成

岩手大学認定資格
「岩手大学環境管理実務士」の授与

「π字型」環境人材に必要な要素と養成方法

ESDの価値観

18のESD科目（23年度）
09：11/10：33/11・22：19/12：25/
13・20：19/14：17/15：15/
16～18・21：21/19：20/（年：科目数）

基礎的環境力

基礎ゼミナール：環境
12の環境教育科目

実践的環境力

環境マネジメント（内部監査）
エネルギーシフト・ヴェンデ

学部の専門性

人文社会科学・教育学
理工学・農学

強い意欲と行動力

地域貢献に関する
ボランティア・インターンシップ

「岩手大学環境管理実務士」取得要件

ESD科目：**4単位（2科目）**以上取得

環境教育科目：**2単位（1科目）**取得

環境マネジメント科目：**4単位（2科目）**取得

注) 環境マネジメント・環境報告書に関する
学外実習参加・提言書提出で代替可

地域貢献の学外実習(ボランティア・インターンシップ)
：**1事業（3日間）以上参加＋提言書作成・提出**

注) 環境マネジメント・環境報告書に関する学外実習で
「地域環境マネジメント実践演習」を代替する場合、さらにもう1つ以上学外実習への参加と提言書の作成・提出要



ESD科目

教養教育センター

「持続可能なコミュニティづくり実践学」(1年以上前期)



達増拓也・岩手県知事



本田敏秋・遠野市長



鈴木重男・葛巻町長



稲葉暉・一戸町長



中村哲雄・前葛巻町長



田村満
なつかしい未来
創造株式会社社長



新沼茂幸
ヤマニ醤油社長



畠山重篤
NPO法人
森は海の恋人理事長

「地元の企業に学ぶESD」(1年以上後期)

基礎ゼミナール：環境への意識付け

教材

岩大を中心にエコ活動をする学生の団体の紹介

EMSC (環境マネジメント学生委員会) だよ!!

EMSC内の7つのチームを紹介しよう

<p>①グリーンエコパス</p> <p>第四期EMSCの目的に活動方針を定め、各チームの特色を打ち出し、環境意識を高める。</p>	<p>②原燃研</p> <p>環境問題の解決にむけて、最新の技術を開発し、環境問題の解決に貢献する。</p>
<p>③環境教育</p> <p>環境問題の解決にむけて、環境教育の推進を図る。</p>	<p>④岩大エコ倶楽部</p> <p>岩大の環境意識を高め、環境問題の解決に貢献する。</p>
<p>⑤企画</p> <p>EMSCの活動を企画し、実施する。</p>	<p>⑥広報</p> <p>EMSCの活動を広く知らせ、環境意識を高める。</p>
<p>⑦パブリック</p> <p>EMSCの活動を社会に広げ、環境意識を高める。</p>	<p>⑧総合</p> <p>EMSCの活動を総合的に推進する。</p>

作成：2019年度 EMSC 環境推進委員会

学生がつくる

エコ岩大

エコ岩大の活動内容

- ①グリーンエコパス
- ②原燃研
- ③環境教育
- ④岩大エコ倶楽部
- ⑤企画
- ⑥広報
- ⑦パブリック
- ⑧総合

岩手大学 環境マネジメント推進室
環境マネジメント学生委員会



岩手大学環境マネジメント推進室
岩手大学環境マネジメント学生委員会
作成・編集

12の環境科目

- 14: 地球環境と社会
- 13: 都市と環境
- 12: 人の暮らしと生物環境 / 地域の環境保全を考える
- 11: 「環境」を考える / 生活と環境
- 10: 廃棄物と環境 / 植物栽培と環境テクノロジー
- 09: 森林と環境 / 動物と環境

➡ 教育推進機構環境分科会との連携
水と環境 / 環境の科学

環境マネジメント

教養教育センター
環境マネジメント推進室

(2020年度まで) 1年次後期「**環境マネジメントと岩手大学**」

環境マネジメントシステムの
基本知識を理解してもらう科目

12年間で751名講義登録
(高校生1名を含む)



(2) 2年次前期「**環境マネジメント実践学**」

環境マネジメントシステムの学内監査員として
研修・実務に携わる実習科目

13年間で
内部監査補助員126名
が**内部監査**を**体験**



環境報告書

人文社会科学部環境人材育成WG
INS: CSR/環境人材育成研究会

(3) 2年次後期「**環境マネジメント実践演習**」
学生が中小企業の「**環境報告書**」作成に
協力する実習科目 (2016年度まで)

7年間で受講生**51名**が

岩手県中小企業家同友会加盟企業19社
の**環境報告書作成協力**

INS

産学官民連携

環境経営

エネルギーシフト・ヴェンデ

SDGs

(3) 2017年度～
2年次後期「**地域環境マネジメント実践演習**」
学生が中小企業団体の「**環境経営**」「**エネルギーシフト・ヴェンデ**」に協力する実習科目

岩手大学科目「環境マネジメント実践演習」

2010年度



2011年度



2012年度



2013年度



2014年度



2015年度



2016年度



地域貢献の 学外実習

INS : CSR/環境人材育成研究会
岩手県幼小中高大専ESD円卓会議
いわて高等教育コンソーシアム

INS

農場経営に関するインターンシップ

吉原農場北海道上川郡 参加者

2013年 : 5名	2014年 : 3名
2015年 : 3名	2016年 : 4名
2017年 : 1名	2018年 : 2名
2019年 : 3名	



エコプロ（ダクツ）展

岩手大学ブース運営 参加者

2012年 : 2名	2013年 : 3名
2014年 : 4名	2015年 : 2名
2016年 : 2名	2017年 : 2名
2018年 : 3名	2019年 : 4名



地域貢献の 学外実習

INS : CSR/環境人材育成研究会
岩手県幼小中高大専ESD円卓会議
いわて高等教育コンソーシアム

INS

盛岡市役所IES自己評価 参加者
2011年 : 5名 2012年 : 2名
2013・14年 : 各1名



松尾鉦山跡地における育樹活動 参加者
2013年 : 2名 2017年 : 2名
2019年 : 1名



2013年



2017年



2019年

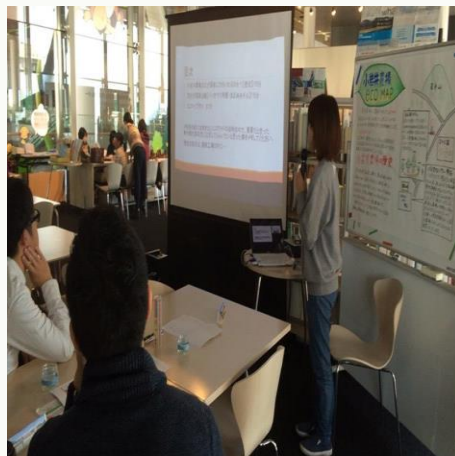


地域貢献の 学外実習

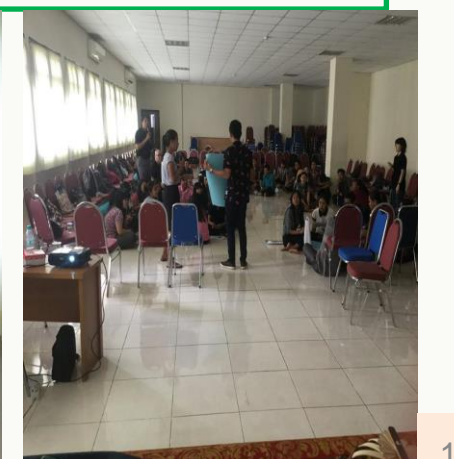
Kids' ISO14000 プログラム に基づく環境配慮活動



岩手県環境学習交流センターでの「環境学習講座」運営



インドネシア国立ガネーシャ教育大学での環境活動



地域貢献の 学外実習



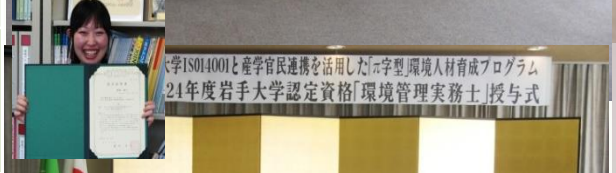
インドネシア国立ガネーシャ教育大学との環境活動

インドネシアバリ島 参加者

2015年3月 : 2名	2015年9月 : 2名	2016年9月 : 3名
2017年9月 : 3名	2018年9月 : 4名	2019年9月 : 5名
2023年3月 : 4名		

「岩手大学環境管理実務士」授与式（2012～21年）

授与年	授与人数
2012年	6名
2013年	3名
2014年	5名
2015年	3名
2016年	2名
2017年	2名
2019年	1名
2021年	1名





活躍する卒業生

環境マネジメント実践演習（2010年）



盛岡市役所学外実習（2013年）



29 12版A

2013年(平成25年)9月15日 日曜日 享月 日 発行 盛岡

THE POWER OF UNIVERSITY

東北の
大学力
・2013・



岩手大学

社会変革を推進する大学からのメッセージ

活躍する卒業生

実践で得られた経験が、仕事に生きてくる

2013年 人文社会科学部環境科学課程卒業
盛岡市役所環境部環境企画課環境みらい係 主事補

多田恭子さん

岩手大学には、幅広い分野を学びながら、自分がやりたい専門分野もとことん学べる環境がとどろいています。在学中、特に印象に残っているのは、「環境マネジメント実践演習」を履修し、市内の自動車板金会社の環境報告書を作成したことです。分からないことが多くとても大変でしたが、首段は見られない仕事の現場が見られたり、さまざまな話が聞けたり、とても貴重な体験ができました。また、何も分からないところから報告書を作りあげたことは、私自身の大きな経験になったと思います。こうした大学時代の経験が、社会に出たときに生きてくるということを今実感しています。



盛岡さんさ踊りで最前列

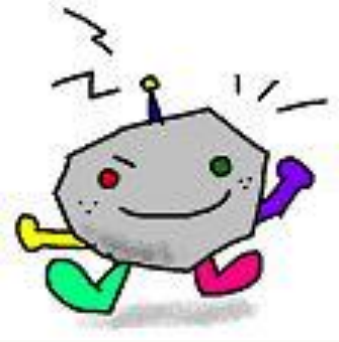
MESSAGE

物事の考え方を養える、大学での研究活動

2013年 工学研究科応用化学・生命工学専攻修士
出光興産株式会社 潤滑油部 佐藤真哉さん

現在の仕事に必要な潤滑油に関する知識だけではなく、物事の考え方も大学で身につきました。研究では常に、なぜこのようなデータを示すのか、どうし

持続可能な共生社会
実現させる人材を育



岩手大学における 環境関連の受賞

INS



第1回エコ大学ランキング 全国総合第1位獲得!

2009

エコ・リーグ（全国青年環境連盟）
Campus Climate Challenge 実行委員会

調査対象

国立大学84校、公立大学74校、私立大学176校、合計334校

【エコ大学ランキング】（満点125点）

●国公立大学

第1位 岩手大学（岩手県）107点

第2位 九州工業大学（福岡県）98点

第3位 山形大学（山形県）96点

●私立大学

第1位 フェリス女学院大学（神奈川県）87点

第2位 郡山女子大学（短期大学部）（福島県）82点

第3位 成蹊大学（東京都）80点

第1回 エコ大学 ランキング 発表会・表彰式

2009年9月15日

主催: エコ・リーグ Campus Climate Challenge 実行委員会

助成: Global Green Japan, British Council, 東京ガス環境おうえん基金

Climate Challenge



第1回エコ大学ランキング表彰式

第2回エコ大学 ランキング

2010

第3回エコ大学 ランキング

2011

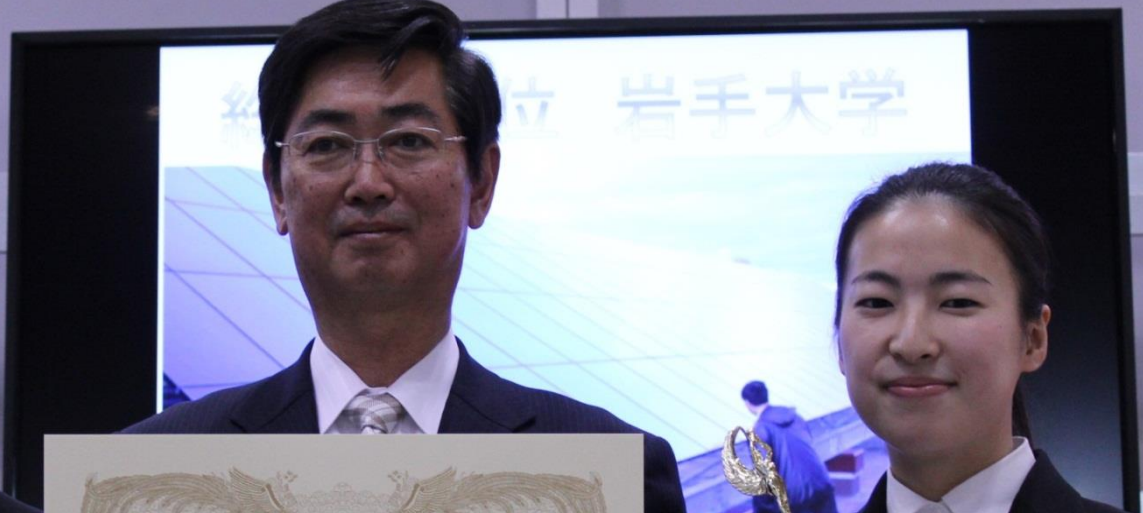
第2回から私立大学を含めた総合ランキング

- 第1位 三重大学
- 第2位 岩手大学
- 第3位 筑波大学
- 第4位 名古屋大学
- 第5位 琉球大学

- 温暖化対策実施部門
第1位 岩手大学

- 第1位 名古屋大学
- 第2位 岩手大学
- 第3位 郡山女子大学
- 第4位 日本工業大学
- 第5位 成蹊大学

- 学生との協同・教育
第2位 岩手大学



表彰状

総合・国公立大学部門 第二位
 学生との協働・教育部門 第二位
 国立大学法人 **岩手大学 殿**

貴大学は学内における環境対策を
 先進的に実施し、第三回エコ大学
 ランキングに於いて頭書のとおり
 優秀な成績を収めました
 よってここにその栄誉を称えこれを
 表彰致します

平成二十三年十二月十七日

エコリーグ(全国青環連盟)
 Campus Climate Challenge 実行委員会



第3回エコ大学ランキング表彰式 (東京ビックサイト、2011年12月17日)

第5回エコ大学 ランキング

2013

第1位 三重大学
(上浜キャンパス)

第2位 岩手大学

第3位 日本工業大学
(宮代キャンパス)

第4位 京都工芸繊維大学

第5位 大阪府立大学

環境教育部門

第1位 岩手大学



第5回エコ大学ランキング表彰式
(東京ビックサイト、2013年12月17日)

第6回エコ大学 ランキング

2014



146校が回答。4部門の総合得点で1000点中600点以上を獲得した岩手大学を含む6校が「**5つ星エコ大学**」(総合部門最高評価)として表彰。

岩手大学は「**環境人材育成・研究**」「**環境マネジメント・USR**」部門で**最高評価(5つ星)**を獲得。

理由

- ・ 環境に関する全学共通科目と専門科目の設置、ISO14001と産学官民連携を活用した「**Π字型**」**環境人材育成プログラム**、地域を支える「**エコリーダー**」・「**防災リーダー**」育成プログラムなど特色ある環境教育による「地域社会に貢献する環境リーダーを育成」
- ・ 岩手大学環境マネジメント学生委員会を中心に学生組織が主体的に参画、学内の環境整備、地域住民と一体となった取り組みを行っている「100名の学生委員と連携したマネジメント体制」

第6回エコ大学ランキング表彰式
(JICA地球ひろば、2015年1月30日)

サステイナブルキャンパス推進協議会 第2回サステイナブルキャンパス賞2016 「学生活動・地域連携部門賞」受賞

2016

主催：サステイナブルキャンパス推進協議会
(CAS-Net JAPAN)

【講評】

岩手大学環境マネジメント学生委員会による学生参画のエコキャンパスづくりと**岩手大学環境人材育成プログラム**が、サステイナブルキャンパスの実現とサステイナブルコミュニティへの地域貢献に成果をあげられている



第21回地球環境大賞 文部科学大臣賞受賞！

2012

主催・フジサンケイグループ
公益財団法人世界自然保護基金ジャパン
(名誉総裁・秋篠宮殿下)の特別協力を得て創設。

受賞理由

「持続可能な社会の形成に貢献する人材育成の推進」

環境に配慮した教育・研究・社会貢献活動を実践。環境を基軸とする持続可能な社会づくりのための教育(ESD)に力を入れている。ESD教養教育の再構築「学びの銀河プロジェクト」の実績を踏まえ、現在は「ISO14001と産学官民連携を活用した『π字型』環境人材育成プログラム」を推進。基礎的環境力に加え、専門性と実践的環境力を備えた環境人材の育成に注力している。

第21回地球環境大賞 文部科学大臣賞受賞！

2012



2012年4月24日 東京・明治記念館 第21回地球環境大賞授賞式

【問い合わせ先】

担当

中島 清隆（なかしま きよたか）

〒020-8550

岩手県盛岡市上田三丁目18番8号

事務局2階環境マネジメント推進室

TEL：019-621-6912

FAX：019-621-6999

E-mail：knakashi (at) iwate-u.ac.jp

(at) = @に変換してお送りください

岩手大学環境人材育成プログラムHP

： <https://ems.iwate-u.ac.jp/development/>

Twitter：@IUELDp

Facebook：eldprogram.iwateuniv

